

# 全国に広がる思春期研究会

## ⑤岡山SRH研究会

### グローバルな視野を持った人材の集団を目指して

「SRH」は「Sexual and Reproductive Health」の頭文字をとったものです。当時岡山では市や県単位、または個人・団体など多くの人がSexual and Reproductive Healthに関わりそれぞれに活動していました。性教育もそれぞれ行っていました。が、個々の活動には限界を感じていま

性教育をはじめ、「性」に関わる個人、団体、公的機関などが同じグループに所属して意見交換するなどし、職種を超えた横のつながりを持ちながら様々な活動ができるの

であればよりの大きな力となり得ると、平成十六年三月に「岡山SRH研究会」は発足しました。現

在会員数は百名余りで学校、医療施設、地域などからさまざまな職種の人が集まっています。

思春期の子どもたちが本当に必要なとしている情報を発信していくことを目的として、性教育を柱に研修や講演会を開いて行われた研修会は次のようなものです。



参加型の研修会

#### <岡山SRH研究会>

代表 上村 茂仁  
 設立 2004年3月  
 会員数 約100人  
 連絡先 〒700-0901 岡山市本町4-18 コア本町3F  
 ウィメンズクリニック・かみむら 内  
 岡山SRH研究会事務局  
 FAX 086-803-5339  
 E-mail srh\_ok2000@yahoo.co.jp  
 ホームページアドレス [http://std-shc.net/srh\\_research/](http://std-shc.net/srh_research/)

や相談の技術を向上したりなどということがより一層効果的に、かつスムーズに行われることを会員の目標にしています。

#### 研究会主催の研修会

平成十六年から定期的に行い、現在までで十八回の研修会と、年に一度の総会が行われてい

ます。平成十九・二十年に行われた研修会は次のようなものです。

【第十三回】平成十九年五月二十日

「岡山のピアたちを盛り上げよう」

第一部「ピアの活動紹介と実演」倉敷芸術大学／レッドリボン、A2

第二部「性教育」への楽しいアプローチ」上村茂仁、富岡美佳

【第十四回】平成十九年九月二日

「By the young, For the younger」安日泰子

「OCHAに生きる女子

性Life」安日泰子、上村茂仁

【第十五回】平成十九年十一月十八日

「十代が語る、本当に受けた性教育！」十代の若者たち

【第十六回】平成二十年二月十六日

「ピアサポーターからの報告」うさぎフレンズ代表 山本美香子

「性同一性障害について」大西勝、木村好亀

【第十七回】平成二十年五月十八日

「学校や医療機関で知っておいてほしいこと」警察からの提案」三浦万貴子

【第十八回】平成二十年七月十二日

「性の現場に関わる私」

・『若年化する性』ニュース取材部記者 森並慶三郎

・『県立高等学校における性教育実践例』養護教諭 山下知子

・『看護専門学校教育の体験のふりかえり』クリニック師長 井上理恵

・『中学生の相談室は小さなアトリエ』スクールサポーター 芦田はるみ

以上の内容をご覧にな

つておわりの通り、研修会は性の現場に関わっている生の声を引き出して意見交換したり、実際に若年者にしゃべってもらうなどに立つ、そして明日からでも活用できる内容になるように、運営委員が企画しています。

#### 今後の取り組み

今までと同様、研修会の企画・開催のほか、会員による県内外への性教育講演、年三四回の会報誌の発行を続けていく予定です。現在取り組んでいる新しい活動としては、若年者が受診しやすい岡山県内の産婦人科と泌尿器科の病院・診療所のマップづくり、県内の大学生からなるピアグループ（うさぎフレンズ）による定期的に行われる相談のフォローなどがあります。今後も会員を飽きさせない魅力的な会の運営と、思春期保健の推進のために会員の力を還元できるように活動的な会にしていきたいと考えています。

(岡山SRH研究会事務局担当 福原ひろ子)